

令和7年度 廃校活用推進イベント

事例発表 ～栃木県 足利市～



令和7(2025)年10月17日

足利市役所
公共施設マネジメント課
高畠 佑輔

足利市の概要

東京から約85km（直線距離）に位置

人口：137,229人（令和7年8月1日現在）

面積：177.76平方キロメートル



電車（東武鉄道）

浅草駅

約1時間15分

東武足利市駅

車

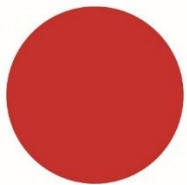
東京駅

約1時間30分

北関東自動車道
足利IC

車の場合、北関東自動車道「足利IC」から中心部まで15分

史跡足利学校



JAPAN HERITAGE

日本遺産



あしかがフラワーパーク

①うすべに藤
4月中旬～下旬頃



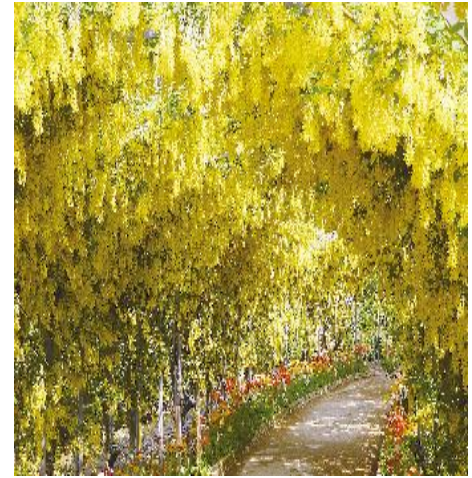
②大藤
4月下旬～5月上旬頃



③白藤
5月上旬～中旬頃



④きばな藤
5月上旬頃





当市の方針及び施設について

基本方針

「足利市公共施設等総合管理計画」（平成28年3月策定）に基づき、公共施設マネジメントを推進。

- ①施設総量の適正化 ②既存施設の有効活用 ③効率的な管理・運営
④「未利用財産の利活用による財源確保・まちの活性化」

施設の現状

公共施設数	254施設(約523,000m ²)
（内訳）市街化区域	158施設(約385,500m ²)
市街化調整区域	96施設(約137,500m ²)
【学校数】 小学校：22校、中学校：11校	

旧大久保分校



- ・ 昭和4年竣工後、毛野小学校分校として活用
- ・ 平成16年3月廃校
- ・ 市街化調整区域



活用に至る経緯と取組

廃校から活用まで

- ・平成16年3月廃校
 - ・地域の想い
 - ・行政も何とかしたい
- ⇒ 活用希望の声はちらほら・・・
 - ⇒ 想いでの学校を蘇らせたい
 - ⇒ まちの活性化



- ・遊休資産活用のため、民間提案募集制度を試行的に実施

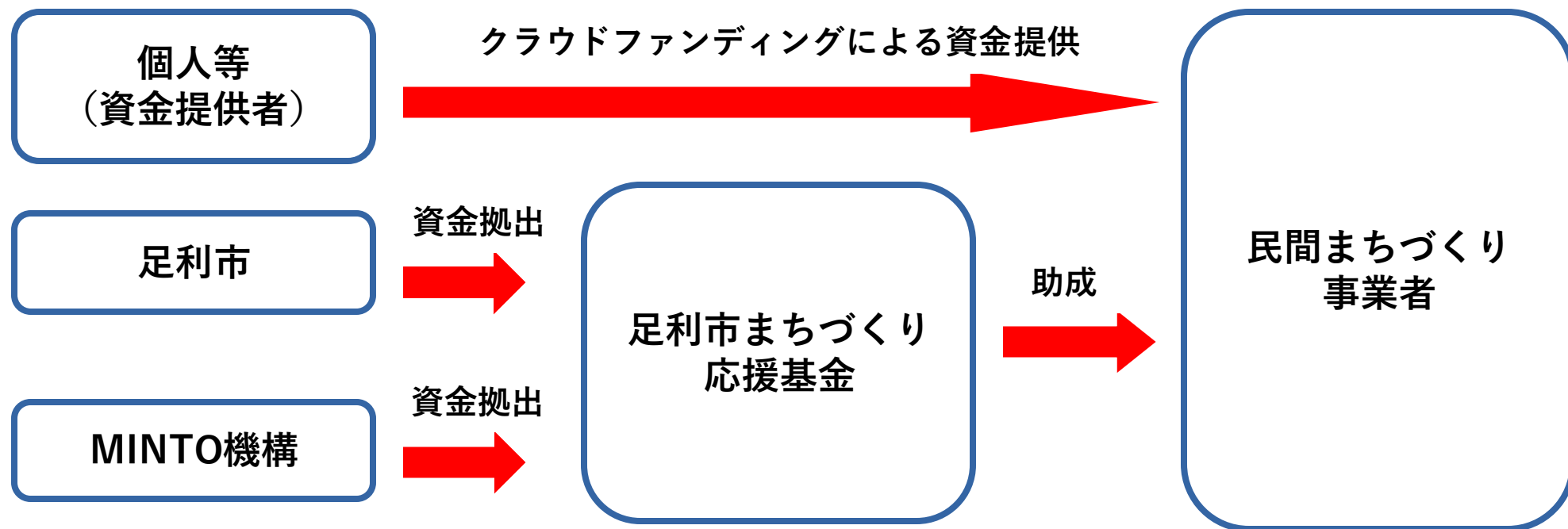
具体的な取組

- ・「一般財団法人 民間都市開発推進機構(MINTO)」の支援メニューを用いて「足利市まちづくり民間活力応援補助金」を創設。
(県内初)。
- ・民間提案募集制度の策定（3施設について提案募集）。
- ・地元への丁寧な説明。

廃校活用費用に伴う課題とその解決

「足利市まちづくり民間活力応援補助金」

交流人口・定住人口の増加、新たな賑わいの創出など、地域の活性化に向けたまちづくりの推進のため、クラウドファンディング活用型「足利市まちづくり応援基金」を創設。



実施スケジュール

年 月	取 組	備 考
令和3年3月	MINTOとの協議	
6月	まちづくり応援補助金創設	
7月	民間提案募集開始	みんなの廃校プロジェクト等で周知
10月	プレゼン及び優先交渉権者決定	契約内容の調整など
令和4年1月	契約締結	
2月	クラウドファンディング実施	
3月	改修工事終了	
4月	開館	

※ 民間提案

【問い合わせ】3施設、計10件 / 【応募件数】2施設、計2件

法令等の課題解決について

都市計画法について

「市街化調整区域」に位置する施設
⇒従前の「学校等(小中学校)」から「社会教育施設(博物館)」への用途変更は開発許可の適用除外。

⇒「社会教育施設(博物館)」は博物館法に定めるもの(個人の博物館などは×)に限るため、栃木県教育委員会にて「私立博物館」としての登録を実施。

建築基準法について

- ・ 利用面積200m²以下にて利用することで用途変更は不要。

廃校活用のメリットについて

地域活性化

廃校が新たな施設として使われることは地元としても大歓迎。
⇒地域のハブとしての役割も。

※ 地元自治会との連携、市内小中学校等への課外授業など。

交流人口の創出

来場者数：令和4年度 2,079人、令和5年度 1,682人、
令和6年度 2,089人

⇒来場者以外にも、若手アーティストの来訪など。

シティプロモーションの一助。

新たな財源確保

- ・維持管理費の削減
- ・遊休資産の活用

今後の展望

未利用財産活用の推進

旧栃木県立足利高等学校（約40,000m²）

⇒別の場所に新校舎を建設し、移転。

施設は令和6年11月1日に、栃木県から当市に所有権移転。

老朽化する前に、早期の活用を推進していく。



まとめ

関係法令の制限

- ・市街化調整区域のため、民間活用は非常に限定的。
- ⇒ただし、利活用の用途によっては、突破口あり。

地域（事業者）との協働

- ・ともに進めることが重要。
- ⇒理念を理解し共感してもらうことで、活用後も地域に溶け込むことができる。

タイミングが重要

- ・民間（借主）のスピード感にあわせる。
- ・自治体の都合で時間が経過すると、ご縁を逃す。
- ・いつでも対応できるよう、準備はしておく。

ご清聴
ありがとうございました

